

平成25年7月18日
県土整備部河川課

報道関係者各位

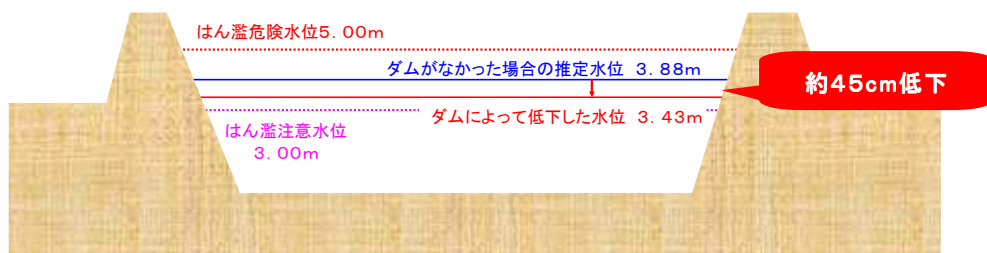
荒沢ダム（鶴岡市・県管理）において防災操作を実施 洪水時の赤川の水位を下げる効果を発揮しました

県内では7月17日より、発達した低気圧により、記録的な豪雨に見舞われていますが、一級河川赤川にある県が管理する荒沢ダム（鶴岡市荒沢）では、18日、河川水位の急激な上昇を防ぐ「防災操作」を行い、ダムに流入する毎秒最大767m³の洪水を毎秒360m³に低減し、下流の熊出水位観測所（鶴岡市熊出地内）において、水位を約45cm低下させました。

今回荒沢ダムが貯留した洪水の量は約430万m³であり、これは約4.3km²の土地が1m浸水する洪水の量（東京ドーム約3.4個分）に相当します。

※ 東京ドーム体積：124万m³

熊出水位観測所状況（ダム地点より約17km下流）



氾らん危険水位（計画高水位）とは・・・

洪水により、相当の家屋浸水等の被害を生じる氾らんの起こる恐れがある水位を表しています。

（問い合わせ先）

県土整備部河川課

課長補佐 竹内晃 TEL 023-630-2686

庄内総合支庁建設部荒沢ダム管理課

課長 多田信之 TEL 0235-55-2021

報道監

県土整備部次長 相田信 TEL023-630-2601